

令和5年度各会計決算を認定

令和6年第2回定例会が9月13日に開会しました。会期は12月6日までの85日間で、前半が9月議会、後半が11月議会です。

9月議会では、令和5年度決算および関連議案を中心に審議を行いました。
(市長提出46件、議員提出4件、合計50件)

決算などの議案を審議

9月20日・24日の本会議で、令和5年度決算および関連議案計24件について、各会派の代表者が質疑しました。その後、決算特別委員会を設置し、局ごとにさまざまな観点から審査を行いました(主な内容は2~4面をご覧ください)。その結果、10月23日の本会議ですべて認定・可決しました。また、補正予算・条例改正などの議案も9月20日、10月23日の本会議で可決しました。

可決した主な議案

令和5年度決算 決算特別委員会委員長報告より

財源対策によることなく実質収支の黒字を確保したことを評価するとともに、人口減少社会において、将来世代が過度な負担を背負い込むことのないよう、未来を見据えた持続可能な自治体経営を行っていくことを期待して、令和5年度神戸市各会計決算20件を認定し、関連議案4件を原案どおり承認することに決定いたしました。

令和6年度9月補正予算の概要

(主な内容)

- 南海トラフ巨大地震に備えた対策
 - 新たなテクノロジーを活用した次世代型防災体制の構築
 - 災害発生時の対応力強化

- その他財政需要
 - コロナワクチン定期接種
 - 中学校給食の全員喫食制の推進 など

議員提出議案

●意見書の提出

次の意見書を可決し国に提出しました。

- 子供たちの豊かな教育環境をつくるための教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書
- 生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書

人事案件

神戸市教育委員会委員の任命に同意しました。

神戸市名誉市民の称号贈呈

日本を代表する書家で、2023年の文化勲章をはじめ数多くの賞を受賞した井茂 雅吉(雅号:井茂圭洞)氏に神戸市名誉市民の称号を贈呈することに同意しました。

▶令和5年度決算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	維	公	共	こ	つ	新	無	無	無	無	結果
								平野章	上原	つじ	村上	
一般会計/国民健康保険	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
市場/農業集落排水/市街地再開発/市営住宅/介護保険/後期高齢者医療/空港整備/下水道/新都市整備/港湾/自動車/高速鉄道/水道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
食肉センター/母子父子寡婦福祉資金貸付/駐車場/公債/工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

会派届出名の略称 自 自由民主党 維 日本維新の会 公 公明党 共 日本共産党 こ こうべ未来 つ つなぐ 新 新しい自民党 無 無所属

2024年 第2回定例会市会【9月議会】の動き

9/13	本会議	○開会 ○議席の一部変更 ○会期決定 ○令和6年度補正予算などの議案の提案・質疑 ○令和5年度決算および関連議案の提案
9/17・18	常任委員会	○令和6年度補正予算などの議案、請願および陳情の審査
9/20・24	本会議	○人事案件の提案・採決 ○令和6年度補正予算などの議案の採決 ○令和5年度決算および関連議案に対する会派代表の質疑 2・3面でご紹介 ○決算特別委員会設置
9/25~10/11	決算特別委員会	○令和5年度決算および関連議案の審査 4面でご紹介
10/16	本会議	○追加議案の提案
10/17・18	常任委員会	○追加議案および陳情の審査
10/23	本会議	○名誉市民の称号贈呈案件の提案・採決 ○追加議案の採決 ○令和5年度決算および関連議案の討論・採決 ○請願の採決 ○議員提出議案の提案・採決
10/24	本会議	○一般質問 4面でご紹介

11月議会は、2024年11月27日(水)から12月6日(金)まで開かれます。本会議および委員会は傍聴やインターネット中継でご覧いただけます。

教育・こども

本会議での各会派の代表質疑から

9月20日・24日の本会議では、令和5年度決算とそれに関連する議案について、市長・副市長などに質疑しました。その主な内容をご紹介します。

議員名（会派届出名の略称、選挙区）

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。



9月20日



9月24日

神戸市会 中継 | 検索

まち

9月20日の代表質疑から

兵庫運河における生物多様性の取り組み

兵庫運河でのアサリやアマモの育成を通じ自然環境を改善し、環境教育やブルーカーボンの普及啓発に取り組む事例を自然共生サイト（※1）に認定申請すると聞いている。この場を多くの方に体験してもらうため、浜山小学校隣接の市有地に環境学習施設などを整備できないか。

ひらの たつし 平野 達司 議員 (自由民主党/兵庫区)



自然共生サイトへの登録については、地元の見解を聞きながらしっかりと進めていきたい。また、子どもたちが自然環境に親しみ、保全に取り組むことは重要であり、兵庫運河周辺の回遊性向上や海岸線沿線地域の活性化・エリア価値向上に寄与するという観点からも、環境学習施設の整備を検討したい。

9月20日の代表質疑から

安全な道路整備

阪神電鉄沿いの北側側道整備について、一部区間が完了したが、無電柱化のために必要な地上機器が自転車専用レーン上に設置されている。衝突の恐れがあるので、安全確保の対策を行うべきではないか。また、今後行う工事でも、安全な道路となるように進めていただきたいがどうか。

そとみ かいぞう 外海 開三 議員 (日本維新の会/東灘区)



電線類の地中化に必要な機器の設置は、通行への支障を軽減するため、自転車道と歩道の境界部分を基本としたが、やむを得ず自転車道側を選定した場合もある。安全確保対策として、衝突回避のための誘導標示などを検討している。今後も、歩行者や自転車の安全確保に万全を期したい。

9月20日の代表質疑から

都心部の回遊性

都心部において歩く人を中心に空間を再構築するまちづくりが行われているが、楽しく巡りたくなるまちにするには、通るたびに新たな体験や発見があるよう常に変化し続けるさまざまな仕掛けが必要と考える。見解を伺いたい。

はぎわら たいぞう 萩原 泰三 議員 (公明党/中央区)



都心・三宮再整備では、公共空間と沿道の建築物が一体となった「歩くことが楽しく巡りたくなるまち」を目指してハード・ソフト両面で取り組んでいる。沿道の建物がまちに開かれた空間やベンチ、イベント実施が可能なスペースを整備するとともに、変化に富んだ継続的なイベント実施に地域の企業などと共に引き続き積極的に取り組みたい。

9月24日の代表質疑から

王子公園再整備計画

神戸市は市民に愛されてきた王子プールを解体するとしており、今後もサブグラウンドや相撲場の廃止、テニスコート縮小など、市民の大切なスポーツ施設をなくそうとしている。この元凶は公園を大学に切り売りすることにあり、再整備計画は中止すべきと考えるが見解を伺いたい。

あじくち 味口 としゆき 議員 (日本共産党/灘区)



王子公園再整備は、2021年12月の基本方針素案発表以来、市会でも十分な審議をいただき、市民や有識者からも幅広く意見を聴取し、意見の反映や内容を見直しながら基本方針や計画の策定を行ってきた。本市では、これまでの経緯を踏まえ、スピード感を持って再整備を進めていく。

9月24日の代表質疑から

済生会兵庫県病院の再編統合

済生会兵庫県病院が中央区から北区に移転する際、今の藤原台の場所を確保したのは神戸市自身であり、市として相当な支援をしたと言われている。統合ありきではなく、神戸市がこの場所がいいとした今の場所で病院を存続させるための支援を尽くすべきではないか。

あさくら こ 朝倉 えつ子 議員 (日本共産党/北区)



済生会兵庫県病院が北区へ移転した当時は人口が増加していたが、現在は人口減少局面に入っている。済生会兵庫県病院単独では将来的に地域の基幹病院として急性期医療の維持・継続は難しい状況を踏まえ、再編統合が最も望ましいと有識者、関係者、本市も考えており、再編統合を進めていきたい。

9月24日の代表質疑から

神戸登山研修所の再配置

王子公園の再整備にあたり、現在の神戸登山研修所を取り壊し、移転・再配置することが決められたが、これまで以上に拡充した施設として新設することを要望している。最新の状況はどうか。

おかだ ゆうじ 岡田 ゆうじ 議員 (新しい自民党/垂水区)



登山研修所は、長年にわたり神戸の登山文化の発展に貢献してきており、公園内のスポーツゾーンに再配置することとなった。兵庫県山岳連盟の要望を聞きながら、登山技術の研究と研修、スポーツクライミングの競技力向上を図るため、それらの機能の拡充を図った上で再整備し、ユニバーサルデザインにも配慮した、市民がより身近に親しむことができる施設にしていきたい。

9月20日の代表質疑から

部活動の地域移行 (KOBE◆KATSU (※2))

神戸市はKOBE◆KATSUを推進し、2026年9月を目標に中学校部活動の移行を進めている。参加できるクラブ作りや指導者の確保など、子どもたちの活動に切れ目がないよう計画し、移行前と同水準で活動できるようにしなければならない。市長部局としても、予算や人員を確保するなど、責任を持って取り組むべきではないか。

ことう だいすけ 五島 大亮 議員 (自由民主党/北区)



教員の働き方の問題を解決するため、教育委員会がKOBE◆KATSUの方針を打ち出し、市長部局も問題意識を共有している。市長部局がどういう形で関わるか、2025年度予算編成の中で議論を行い、成案を出していきたい。

9月20日の代表質疑から

いじめ対策における罰則規定の導入

いじめは犯罪である。加害者に指導が行き届かない中で、加害者の学ぶ権利は保護され、被害者の学ぶ権利は無視されているのが現状ではないか。学ぶ権利の裏に、いじめの加害者になってはならない義務があることを正しく指導するとともに、抑止力としての罰則規定が必要ではないか。

ことう だいすけ 五島 大亮 議員 (自由民主党/北区)



いじめ問題が起こった際は、警察などの関係機関とも連携し、加害児童生徒に対し適切に対応している。また、2023年度からは市内全小中学校において、「神戸市いじめ未然防止プログラム」を実施している。今後もいじめの未然防止に資する取り組みを推進していく。

9月24日の代表質疑から

高校生等通学定期券補助制度の対象拡大

高校生等通学定期の無料化がスタートしたが、対象外である市外高校に通う世帯から無料化の拡充を望む声がある。今後、兵庫県第一学区である市外高校へ通学する生徒も対象とする意向があるか見解を伺いたい。

やの こうじ 議員 (こうべ未来/東灘区)



無料化の対象に、芦屋市・淡路といった第一学区や、三田市・三木市など隣接区域を加えてはどうかなどさまざまな意見をいただいている。大阪府の高校授業料無償化に対し、兵庫県に県レベルでの対応を要望しており、県での検討状況、本市の制度拡充による市内の高校受験者数の動向など、教育環境への影響・効果を踏まえて検討を進めていきたい。

9月24日の代表質疑から

西区の平野小学校のバス通学

開校150周年を迎える西区の平野小学校の児童が通学に利用する民間バス路線が、2024年度末で廃止になる。地域住民の地元への愛着を守り、児童が安心して学習できる環境を整えるため、スクールバスの導入やタクシー利用に対する補助など、保護者や児童に寄り添った対応を検討していただきたい。

かがわ しんじ 香川 真二 議員 (つなぐ/西区)



地域における既存の移動手段の活用可能性なども含め、どのようなことができるのか、引き続き関係部局とも協議しながら考えていく。現在、さまざまな移動手段の可能性を検討しているところであり、何らかの形で対応ができるよう進めていきたいと考えている。

行財政

9月20日の代表質疑から

行政委員の月額報酬

Q 行政委員の月額報酬は委員会によって金額に差があるが、業務量の多さや職責の重さなどの比較による金額決定は困難だと感じる。日額制を採用する政令市もある中で、市民の理解が得られる合理的な理由があるのか。報酬水準を検討するため、外部委員会を設置するべきではないか。



のまち けいいち 議員
(日本維新の会/中央区)

A 本市では登庁日以外の職務・職責や人材確保など、さまざまな観点により月額制を採用し、報酬を定めている。第三者委員会の設置については、行政委員会は、市長から独立した地位・権限を有しているため、各委員会の意見を尊重して対応すべきと考えている。

9月24日の代表質疑から

神戸市における公益通報制度

Q 神戸市の通報窓口は、過去には内部窓口と外部窓口が併存し、消防・水道・交通・教育は別の窓口であったが、2019年度より外部に一本化され通報者が特定できない仕組みになったと聞いている。改めて制度変遷の狙いについて見解を伺いたい。



いさやま だいすけ 議員
(こうべ未来/灘区)

A 職員が安心して通報でき、組織の自浄作用が正常に機能する制度となるよう、窓口を外部の弁護士に一元化した上で、通報者に関する情報を通報窓口限りとする事で、当局に対する通報者の匿名性を確保した。内部通報制度が職員にとって利用しやすく、適正に機能するよう今後も継続的に改善に取り組みたい。

9月24日の代表質疑から

市税滞納者の財産差押えにかかる 確実な予告通知

Q 西宮市では、市税滞納による財産差押えの事前通知を簡易書留で発送しているが、神戸市では差押予告書を普通郵便でしか発送していない。財産差押えが及ぼす重大性を考えると、予告通知が確実に本人に届く仕組みを検討すべきではないか。



うえはら みなみ 議員
(無所属/北区)

A 現在は差押予告書を普通郵便で送付しているが、今後は、例えば新規に不動産を差し押さえる場合など、滞納事案に応じて、簡易書留などの特殊郵便を活用し、着実に滞納の解消に努めていきたい。

9月24日の代表質疑から

森林環境税(※3)の徴収開始に伴う 県民緑税の見直し

Q 森林環境税の徴収に先駆け兵庫県下では県民緑税が賦課されている。森林環境譲与税(※3)は既存の実施事業に充当できないため、例えば森林整備と同じようにCO2抑制に貢献する再生可能エネルギーの活用などへの県民緑税の用途拡大を県に求められないか。



むらかみ たつま 議員
(無所属/兵庫区)

A 森林環境譲与税と県民緑税の財源の用途を明確に分け、補完し合う形で各事業を進めているが、提案いただいた県民緑税の用途拡大については、県との協議で話をしていきたい。

経済

9月20日の代表質疑から

神戸経済の成長を担う人材の育成

Q 持続可能な神戸の実現に向けて、デジタル技術の飛躍的な進展などに迅速にかつ柔軟に対応するため、人材の育成やAIの活用について、各局が企業・大学などの協力を通じて、全市一丸となって取り組む必要があるのではないか。また学生に人気のある情報通信系企業が市内に数少ないため誘致が必要ではないか。



ひらの たつじ 議員
(自由民主党/兵庫区)

A データサイエンスやAIなどを駆使できるデジタル人材の育成と定着は急務であり、市内企業や大学、教育機関との連携、教育委員会の取り組み、情報通信産業の誘致・振興、神戸医療産業都市における取り組みなどを相互に関連付けながら進めていきたい。

9月20日の代表質疑から

女性活躍の推進

Q 少子高齢化・人口減少が進み、担い手不足が顕在化している中、これまで以上に女性の活躍が求められている。一方で、神戸市の女性の就労率は全国平均を下回り、政令市ではワースト3となっている。この現状に市としてどのような対策をとっていくのか。



たかはし としえ 議員
(日本維新の会/西区)

A 2021年度から「女性活躍プロジェクト」により就労支援を進めている。柔軟で多様な働き方の支援のため、「あすてっぷコワーキング(※4)」を設置しており、中央区・西区に続く3カ所目の開設を予定している。また、在宅でも就労可能なデジタルスキルを習得する「女性Webクリエイタープログラム」も開始した。

9月24日の代表質疑から

海外ビジネスオフィス

Q 東南アジアに設置を計画する新拠点では、現地情勢の把握や人的ネットワークの構築を進めると同時に、スタートアップ分野を中心にビジネス交流を深めると聞かすが、現時点で予定している規模や機能を伺いたい。



つじ やすひろ 議員
(無所属/東灘区)

A 東南アジア、インドを対象に、政府や投資家などのネットワーク形成を通じ、市内企業、スタートアップの海外展開支援、現地のスタートアップ誘致による高度人材の獲得、海外から神戸への投資誘引などに取り組みたい。

用語説明

※1【自然共生サイト】
生物多様性の観点から、2030年までに各国の陸と海の30%以上を保全する国際目標「30by30」の達成に向けて、環境省が「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する制度であり、国連のデータベースにも登録される。

※2【KOBE◆KATSU(コベカツ)】
生徒が地域の方々とともに活動する「神戸の地域クラブ活動」のこと。

※3【森林環境税・森林環境譲与税】
森林環境税は2024年度から国内に住所のある個人に対して課税されている国税であり、その税収全額が森林環境譲与税として都道府県および市

暮らし

9月20日の代表質疑から

認知症に関する理解促進

Q 神戸市は認知症神戸モデルなど先進的な認知症施策に取り組んでいるが、新しい認知症観(※5)など、認知症になった人への理解が深まる取り組みをより一層進める必要がある。また若い世代も誰でも認知症になる可能性があるが、若年性認知症の認知度は低いと感じており、理解啓発を積極的に進めていただきたい。



かどた 門田 まゆみ 議員
(公明党/須磨区)

A 今後も認知症神戸モデルの安定運用を図ると同時に、ご指摘の認知症に対する理解の促進も必要と考えている。デジタルサイネージなどの広報も活用しつつ65歳以上の市民はもちろん、その家族や若い世代にも認知症や認知症対策の理解を求める対応を進めたい。

9月20日の代表質疑から

市営住宅における空き住戸

Q 神戸市では、改修・更新時期を迎える大量の市営住宅への対応や構造・設備面の課題を踏まえ、マネジメント計画に取り組んでいるが、管理コストの増や防犯、環境衛生などの面から、空き住戸の課題が重要である。人口減少でさらに空室増が想定される中、今後の取り組みへの見解を伺いたい。



かどた 門田 まゆみ 議員
(公明党/須磨区)

A 1980年以前に建設したエレベーターのない住宅を順次廃止・集約している。集約する住宅ではエレベーターや風呂、給湯器を設置するなど、入居率の確保が期待できる良好な市営住宅ストックを形成するという方針のもと、市営住宅のマネジメントを進めていきたい。

9月24日の代表質疑から

介護テクノロジー導入促進プロジェクトの 今後の方向性

Q 介護テクノロジー導入促進事業においては、介護機器の体験会に厚生労働省局長や経済産業省が視察に訪れるなど大きな盛り上がりが見られるが、これまでの取り組みへの評価と2025年度以降の事業展開を伺いたい。



ひらの しょうぞん 議員
(無所属/垂水区)

A 介護現場での業務負担の軽減や機器開発に取り組む企業の事業化促進を目指し、これまで13件の介護テクノロジーが現場導入につながった。大手企業の参画も見込まれており、これを育て大きな事業につなげていきたい。

町村へ譲与され、森林整備およびその促進に関する費用に充てることとされている。

※4【あすてっぷコワーキング】
キッズスペースや一時保育、キャリア相談などのサービスを備えた女性向けのコワーキングスペース。

※5【新しい認知症観】
認知症政策推進基本計画の素案において打ち出された「認知症になったら何もできなくなるのではなく、できること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、役割を果たし、自分らしく暮らすという基本的な人権を有する個人として認知症と共に希望を持って生きる」という考え方。

決算特別委員会の質疑から

決算特別委員会では、令和5年度決算および関連議案について審査しました。委員会は、9月24日に設置され、9月25日から3つの分科会で局ごとに審査した後、10月9日には総括質疑を、10月23日の本会議では市長に対して要望を行いました。 議員名(会派届出名の略称、選挙区)

決算特別委員会
議員62名で構成
委員長 やました 山下 てるせい じゅんいち
副委員長 ながさわ 淳一 かどた 門田 まゆみ にし 西 ただす

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→



神戸市会 中継 | 検索

10月9日

10月9日の決算特別委員会から

部活動の地域移行の発信

Q 部活動の地域移行は2026年9月の移行までに解決すべき多くの課題がある。発信が足りていない。具体的に決まったこと、どこどこの学校がどうなるなどの情報をQ&A方式で明確に発信すべき。また、部活動の選択肢が増えることなど、こどもたちのための地域移行であることを伝えるべき。

かなみ ただかず
河南 忠和 議員
(自由民主党/中央区)



A こどもや保護者の価値観が多様化している中、早期に具体的な情報を発信していくことが必要だと思っている。丁寧にQ&A方式の発信にも取り組んでいきたい。

10月9日の決算特別委員会から

通学路の安全対策

Q 横断歩道のカラー化と注意喚起灯の設置を試験的に実施しているが、試験箇所が少ないのではないかと。場所が決まった経緯と本格実施への見解を伺いたい。

たかせ かつや
高瀬 勝也 議員
(公明党/灘区)



A 地域の要望を踏まえて警察と協議し、通学路を中心に試験的に設置した。ばらつきはあるものの車の一時停止率はどちらも向上傾向にあり、交通ルール啓発の一助となった。2024年度中に、より費用対効果の高いカラー化を安全対策メニューの一つとして本格実施することを目指し、警察と協議している。

10月9日の決算特別委員会から

教員のメンタルヘルス対策

Q 教員の離職防止のため、メンタル面で不調に陥りそうなときに学校園以外でも相談できる体制を構築すべきと考えるが、見解を伺いたい。保健師の役割を拡大して早期発見・早期治療につなげ、教職を全うできるように教員の心身を守る環境の整備を要望する。

いとう
伊藤 めぐみ 議員
(こうべ未来/北区)



A 産業保健体制の強化は早急に取り組むべき課題だと認識しており、教育委員会事務局への産業医の配置や相談・面談業務の中心的役割を担う保健師の体制拡充など、市長部局と連携して取り組みを進めたい。

10月9日の決算特別委員会から

GIGAスクール構想(*)の端末選定

Q GIGAスクール構想で導入した現在の端末は使いづらいという声があり、故障・破損も増加傾向にある。次期端末はこれまでの課題や関係者の意見を反映させ、こどもたちが積極的に活用でき、能力向上に役立つものを選定すべきではないか。

くろだ たけし
黒田 武志 議員
(日本維新の会/西区)



A 学校現場から、処理性能や壊れにくさ、持ち運びのしやすさ、カメラ品質の向上について意見を聞いている。反省点や知見を活かして検討し、使いやすく、学習効果の向上につながる端末の導入を目指したい。

※GIGAスクール構想

文部科学省が提唱する構想で、1人1台の端末や通信ネットワーク環境を一体的に整備し、児童・生徒一人ひとりに合わせた創造性を育む教育を目指すもの。

10月9日の決算特別委員会から

くらしを守る施策への転換

Q 市民のくらしが大変な中、水道・市バス料金の値上げを強行している。市長は、人口が減り乗客が減るから運賃をあげるとそこに住む人口が減る、この悪循環は良くないと言っているが、値上げはまさに悪循環の始まりではないか。

もりもと しん
森本 真 議員
(日本共産党/長田区)



A 水道、交通事業ともに収益が悪化する中、持続可能な経営基盤の確立が重要と考える。悪循環に陥らないよう引き続き、安定的なサービスの提供、利便性の向上に向けた取り組みにより、市民のくらしを支える使命を果たしていく。

質疑した他の議員(総括質疑)

- あわはら とみお あわはら 富夫 議員(つなぐ/中央区)
- おかだ 岡田 ゆうじ 議員(新しい自民党/垂水区)
- ひらの しょうざん 平野 章三 議員(無所属/垂水区)
- うえはら 上原 みなみ 議員(無所属/北区)
- つじ やすひろ つじ やすひろ 議員(無所属/東灘区)
- むらかみ たつま 村上 立真 議員(無所属/兵庫区)

党派構成の変更

2024年9月6日付で村野誠一議員・岡田ゆうじ議員が「自由民主党神戸市会議員団・無所属の会」を退会し、2024年9月10日付で「新しい自民党神戸市会議員団」を結成しました。

要望事項

10月23日の本会議で、山下 てるせい決算特別委員会委員長から、市長に対し要望を行いました。

●神戸空港

神戸空港の国際化に伴うインバウンド客の誘致や、就航都市の企業・大学との連携・交流などにより、市内経済への効果が最大化するよう、中長期的なビジネス展開を図られたい。
また、利用者増に対応できる利便性の高い空港となるよう、駐車場を含めた効果的な施設整備を遅滞なく進められたい。

●防災力の強化

今後想定し得る大規模災害に備えるため、時代に沿った通信環境の整備を行い、停電時に充電や給電が可能な施設を増やすなど、災害対応力を強化されたい。
また、女性の視点を取り入れた防災訓練の実施や、市街地消防団の車両更新について公費の投入を検討するなど、地域防災力の強化を図られたい。

●学童保育

単位認定されるジョブ型インターンシップなどを有効に活用し、大学生や専門学生の参画を促すなど、保育人材の確保に努められたい。
また、過密学童の解消や夏休みの昼食提供など、適切で魅力的な保育の充実に取り組まれたい。

●部活動の地域移行

途中経過の情報を適宜発信するなど、市民の理解を得られるよう努められたい。
また、こども本位で魅力ある仕組みを目指し、地域の受け入れ体制や人員・場所の確保を図るとともに、市民の文化・スポーツ活動がより一層活性化するよう取り組まれたい。

一般質問

議員がそれぞれの立場・観点から、市政一般について市長・副市長などに質問しました。

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。↓

10月24日



こうたろう
しらくに 高太郎 議員(自由民主党/垂水区)

- 「住むなら神戸」と言われるための取り組み
- グリーンアリーナなどのスポーツ施設の活用促進
- マリニピア神戸をはじめとした観光資源の活用

うえなか まさこ
植中 雅子 議員(自由民主党/北区)

- 人口減少時代における就業人口の確保
- 産後ケア事業
- 認知症・フレイル予防
- 放置竹林対策

いわたに
岩谷 しげなり 議員(日本維新の会/兵庫区)

- 震災後30年を踏まえた次期基本計画と施策立案
- スタートアップ支援の評価・検証
- 気候変動に合わせたライフスタイル・働き方の啓発
- 多様性への理解を広げる取り組み
- 神戸文化ホールの跡地利用

やまもと
山本 のりかず 議員(日本維新の会/北区)

- 顔の見える関係づくりのルール化
- 職員のメンタルケア・職場復帰支援の充実
- 市民が安心できる防災対応(防潮鉄扉)
- 伐採木などの活用促進と新北区文化センター
- 民間企業などとの人事交流促進

よしだ けんじ
吉田 謙治 議員(公明党/西区)

- 共助システムの構築
- 子育て・介護人材などの処遇改善と育成
- 教育先進都市こうべの取り組み

まつもと こ
松本 のり子 議員(日本共産党/東灘区)

- 王子動物園の飼育員の正規雇用
- 大阪・関西万博の校外学習
- 管理職の女性登用
- 校則
- 市バスの在り方

きど
木戸 さだかず 議員(こうべ未来/須磨区)

- 災害対策
- 緑化政策
- 予防医療の取り組み
- 不登校児童生徒への学力支援